

岐阜市生物多様性プラン
計画期間：2016年度-2025年度

第3期アクションプラン
2023-2025

多

様

な生きものと

“あたりまえ”に暮らすまち

岐阜市生物多様性プラン
計画期間：2016年度-2025年度

目 次

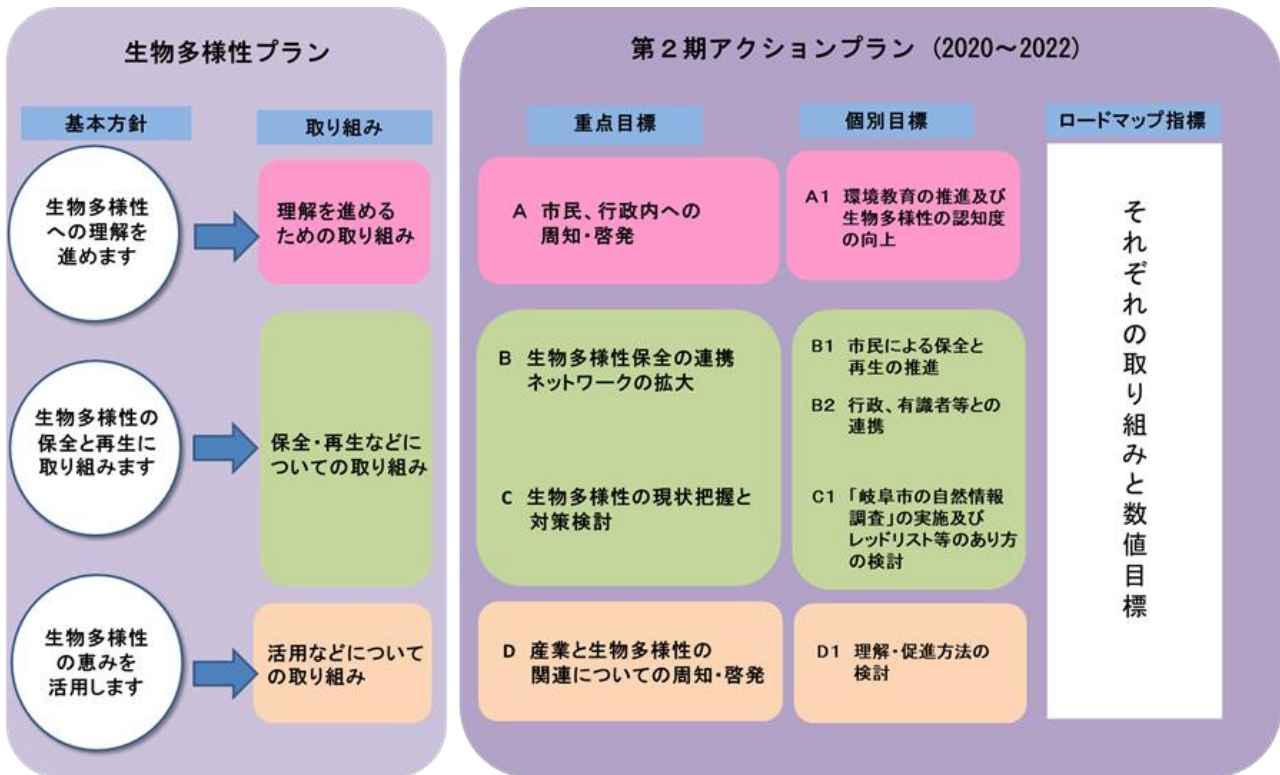
1. アクションプランの目的	1
2. アクションプランの対象期間	1
3. 第3期アクションプランの構成	
(1) 改定の考え方	2
(2) 改定の方針	2
(3) アクションプランの目標	3
(4) アクションプランの構成	3
4. 第3期アクションプランの指標と目標	4
5. アクションプランの管理方法	5
6. アクションプラン総括表	
(1) 個別目標	6
(2) 全体評価	6
7. 個別目標	
(1) 個別目標個票 A1	7
(2) 個別目標個票 B1	8
(3) 個別目標個票 B2	9
(4) 個別目標個票 C1	
10	
(5) 個別目標個票 D1	11

1. アクションプランの目的

2016年3月に策定した岐阜市生物多様性プラン（以下「生物多様性プラン」という。）では、生物多様性について、本市が、目指すべき将来の姿を「多様な生きものと“あたりまえ”に暮らすまち」とし、3つの基本方針を掲げ、多様な取り組みを推進することとしています。

そして、この「生物多様性プラン」では、この取り組みの進ちょく状況を管理するため、およそ3年ごとの数値目標を設定したアクションプランを作成することとしています。

図1 岐阜市生物多様性プランと第2期アクションプランの施策体系



2. アクションプランの対象期間

アクションプランの対象期間は、3年ごととし、「生物多様性プラン」の計画期間内に3回に亘ってプランを策定します。

表1 アクションプランの期間

西暦年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	
和暦年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
生物多様性プラン	策定										目標年度
アクションプラン	第1期アクションプラン			第2期アクションプラン			第3期アクションプラン				
	完了				策定		完了		策定		目標年度

3. 第3期アクションプランの構成

(1) 改定の考え方

第2期アクションプランの進捗結果を踏まえ、達成度が高い取り組みは、拡大又は継続とし、達成度が低い取り組みは、継続又は改善とするなど、アクションプランの見直しを行います。

表2 第2期アクションプランの評価と策定方針の考え方

第2期アクションプランの個別目標	評価（達成度）	改定方針の考え方
A1 環境教育の推進及び生物多様性の認知度の向上	順調	拡大
B1 市民による保全と再生の推進	順調	拡大
B2 行政、有識者等との連携	順調	継続
C1 「岐阜市の自然情報調査」の実施及びレッドリスト等の在り方を検討	順調	拡大
D1 理解・促進方法の検討	順調	継続

表3 第2期アクションプランの進捗状況

指標	目標 (2022年度)	進捗状況の実績		
		2020年度	2021年度	2022年度
A1 環境教育を15回以上実施します	15回以上	15回	26回	-
A1 生物多様性の認知度の向上を図ります	50%以上	51%	58%	-
B1 市民との協働による活動を60回以上実施します	60回以上	88回	80回	-
B2 行政、有識者との連携の機会を60回以上実施します	60回以上	97回	107回	-
C1 「岐阜市の自然情報調査」を実施します	同自然情報調査の結果取りまとめ	同調査を実施	同調査を完了	-
C1 レッドリスト等のあり方を検討します	レッドリスト等のあり方を決定 (2021年度までの目標)	同リストのあり方を検討	同リストのあり方を決定	
D1 産業と生物多様性の関連についての周知・啓発の機会を1回以上実施します	1回以上実施	0回	6回	-

(2) 改定の方針

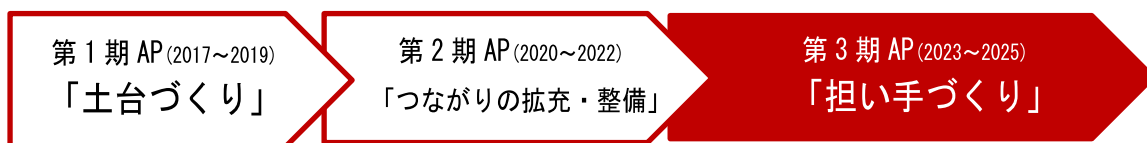
生物多様性プランに掲げる3つの基本方針の実現のため、第1期アクションプランでは「土台づくり」を、また、第2期アクションプランでは「つながりの拡充・整備」を主な視点として、取り組みを進めてきました。

今後は、これまで構築してきた、これらのつながりなどを基に、保全活動に協働して取り組んでいく人材の確保や育成が必要であることから、第3期アクションプランでは、主な視点を「担い手づくり」とします。

この「担い手づくり」を推進することにより、市民が主体となって行動し、豊かな自然環境を次世代に繋いでいくことが可能となります。

そして、第3期アクションプランでは、この「担い手づくり」の観点から、重点目標や個別目標、またロードマップ指標を改めることとします。

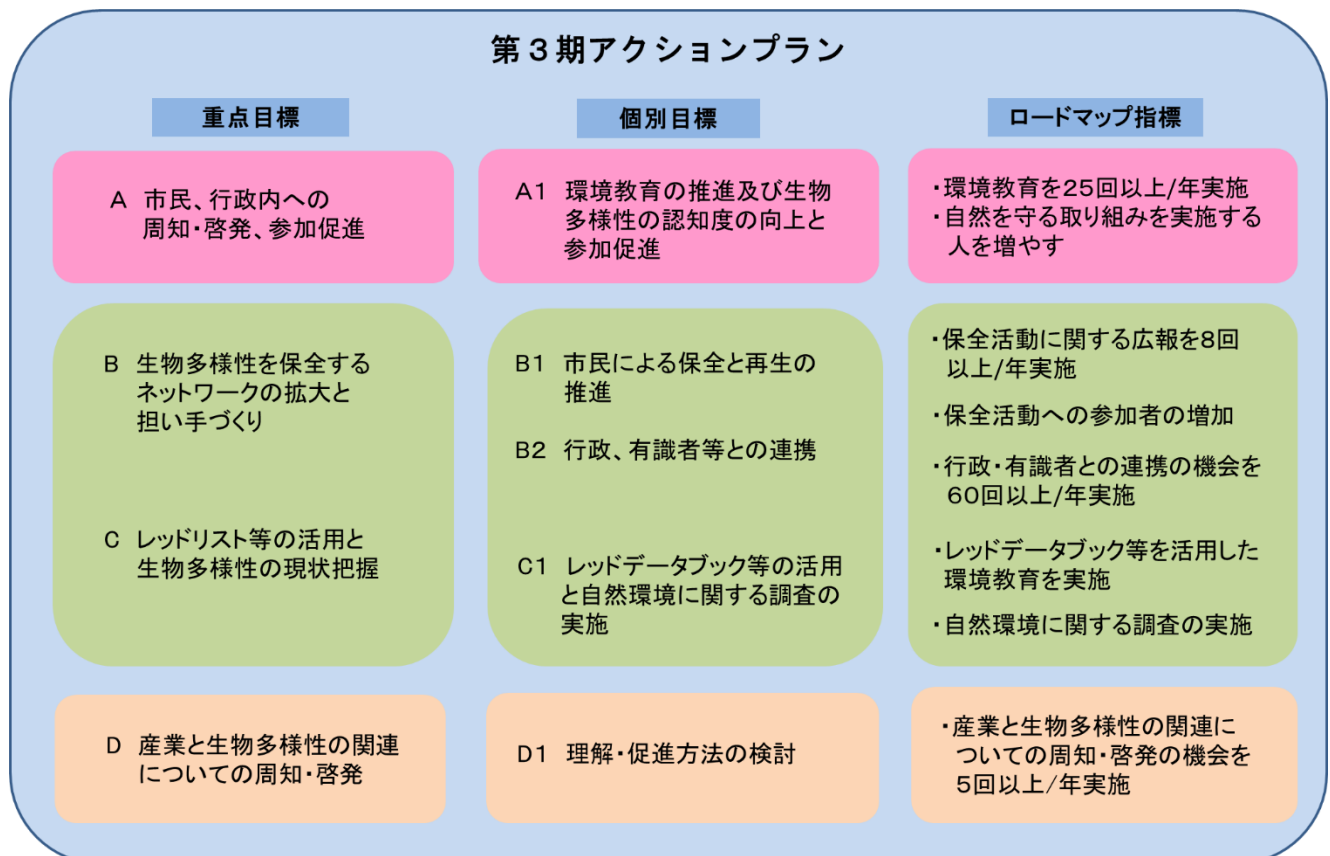
(3) アクションプランの目標



(4) アクションプランの構成

第3期アクションプランでは、4つの重点目標とともに、重点目標を達成するために必要な5つの個別目標、そして、進捗状況を管理するロードマップ指標を設定します。

図2 第3期アクションプラン（2023~2025）の構成



■第3期アクションプランの重点目標の内容

A 市民・行政内への周知・啓発・参加促進

環境保全活動、環境教育、シンポジウムなどを実施し、市民や行政内部における、生物多様性への理解の向上と、保全活動への参加を促進します。

B 生物多様性を保全するネットワークの拡大と担い手づくり

市民・行政・有識者の連携ネットワークを拡大し、保全活動への担い手づくりを行うことで、生物多様性の保全と再生の推進を図ります。

C レッドリスト等の活用と生物多様性の現状把握

2022年度に改訂したレッドデータブック等を環境学習などに活用するとともに、自然環境を把握するための調査を継続して実施します。

※絶滅の恐れのある野生生物の種のリストを「レッドリスト」、またレッドリストに基づきその形態・分布・生息状況・保対策等を取りまとめて編纂した書物を「レッドデータブック」としています。

D 産業と生物多様性の関連についての周知・啓発

生物多様性がもたらす恵みによって、各種の産業が支えられていることを、幅広く周知・啓発します。

4. 第3期アクションプランの指標と目標

指標	目標 (2025年度)	進捗状況の実績		
		2023年度	2024年度	2025年度
A1 環境教育を25回以上実施します(回/年)	25回以上			
A1 自然を守る取り組みを実施している人を増やします(%)	増加			
B1 保全活動に関する広報を8回以上実施します(回/年)	8回以上			
B1 保全活動に参加する人を増やします	増加			
B2 行政、有識者との連携の機会を60回以上実施します(回/年)	60回以上			
C1 レッドデータブック等を活用した環境教育を実施します	レッドデータブック等を活用した環境教育を実施			
C1 自然環境に関する調査を実施します	実施			
D1 産業と生物多様性の関連についての周知・啓発の機会を5回以上実施します(回/年)	5回以上実施			

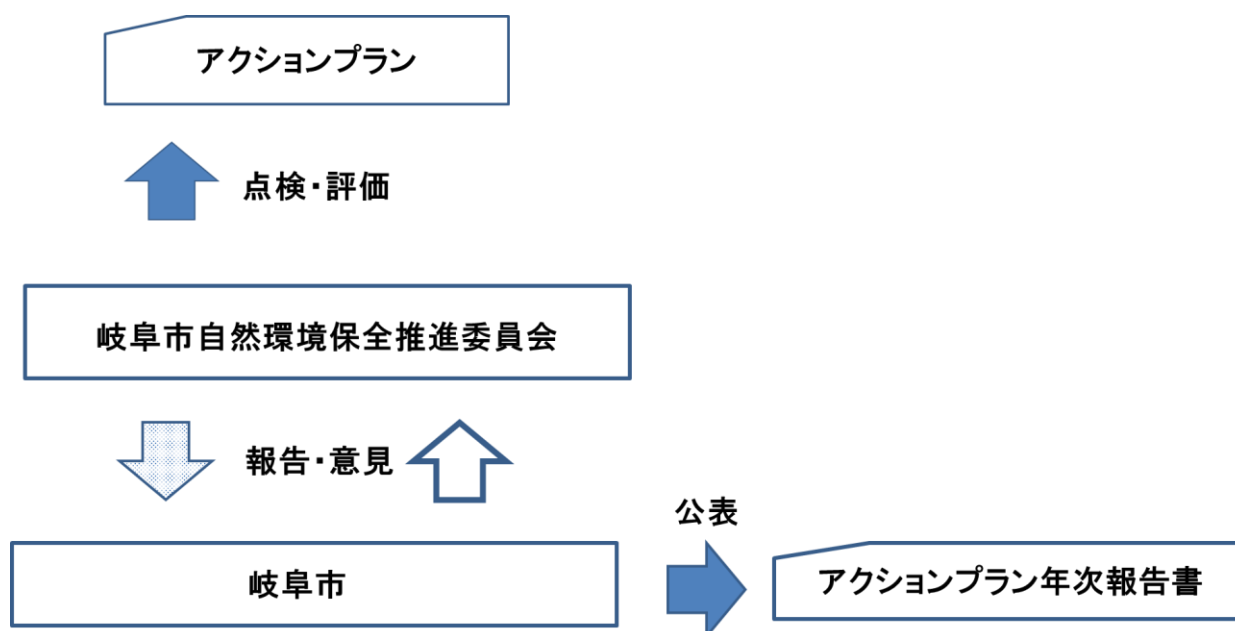
5. アクションプランの管理方法

生物多様性プランでは、毎年、アクションプランの進捗状況を点検し、評価結果を公表することとしています。

点検・評価は、岐阜市自然環境保全推進委員会で行い、本市は、その点検・評価結果を「アクションプラン年次報告書」にて公表します。

また、点検・評価結果を踏まえ、必要に応じてアクションプランの見直しを行います。

図3 アクションプランの管理体制



6. アクションプラン総括表

(1) 個別目標

重点目標と個別目標	個票 ページ	進捗状況		
		2023年度	2024年度	2025年度
A 市民、行政内への周知・啓発、参加促進				
A1 環境教育の推進及び生物多様性の認知度の向上と参加促進	7			
B 生物多様性を保全するネットワークの拡大と担い手づくり				
B1 市民による保全と再生の推進	8			
B2 行政、有識者等との連携	9			
C レッドリスト等の活用と生物多様性の現状把握				
C1 レッドデータブック等の活用と自然環境に関する調査の実施	10			
D 産業と生物多様性の関連についての周知・啓発				
D1 理解・促進方法の検討	11			

進捗状況：順調◎、ほぼ順調○、やや遅延△、遅延×

(2) 全体評価

	意見	進捗状況
2023年度		
2024年度		
2025年度		

※岐阜市自然環境保全推進委員会の意見を記載する

7. 個別目標

(1) 個別目標個票 A1

基本方針	生物多様性への理解を進めます
取り組み	理解を進めるための取り組み
重点目標 A	市民、行政内への周知・啓発、参加促進
個別目標 A1	環境教育の推進及び生物多様性の認知度の向上と参加促進
取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性に関連した環境教育の実施及び把握 ・生物多様性についての周知・啓発 ・市民団体が実施する環境教育の周知・支援

取り組み内容（市が行うべきもの）

<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座、カゲラウオッチング、里山整備等の環境教育関連事業を実施 ・生物多様性シンポジウムの開催 ・こどもエコクラブ事業の実施 ・アースレンジャー自然体験塾の開催 ・学生環境会議の開催 ・庁内・関係行政機関への通知等を行う ・外来種の啓発活動 ・アユ産卵観察会の周知・支援 ・市民が行う環境教育の把握 など
--

指標	基準値	2023 年度	2024 年度	2025 年度
環境教育を 25 回以上/年 実施します※1	25 回 (2021 年度)	25 回以上/年	25 回以上/年	25 回以上/年
自然を守る取り組みを 実施する人を増やします※2	37% (2022 年度)	増加	増加	増加

ロードマップ

※1 環境教育の算出方法：岐阜市役所環境保全課が行う環境教育の合計

※2 自然を守る取り組みを実施する人の算出方法：年 2 回行うぎふメディアコスモス来館者へのアンケート調査

(2) 個別目標個票 B1

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組みます
取り組み	保全・再生などについての取り組み
重点目標 B	生物多様性を保全するネットワークの拡大と担い手づくり
個別目標 B1	市民による保全と再生の推進
取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性を保全する活動の啓発・参加・支援 ・自然ふれあい活動支援事業の実施 ・希少な動植物が生息するエリアの保全方法の検討 ・長良川流域環境ネットワーク協議会への参加・支援

取り組み内容（市が行うべきもの）

<ul style="list-style-type: none"> ・保全活動に関する広報の実施（広報ぎふ、市ホームページ、ぎふネイチャーネット） ・自然ふれあい活動支援事業による、環境保全活動等の実施 ・ぎふネイチャーネットの運営を補助 ・達目洞の保全活動、大洞里山の整備、三輪地区の里山整備 ・カタクリ、ヒキガエル、シデコブシなどの希少な動植物が生息するエリアの保全活動 ・金華山に生息する動植物の保全につながる各種活動 ・各種市民団体イベントへの参加や広報の実施 ・長良川流域環境ネットワーク協議会への活動参加や広報の実施 など
--

ロードマップ

指標	2023 年度	2024 年度	2025 年度
保全活動に関する広報を 8 回以上/年実施します	8 回以上/年 実施	8 回以上/年 実施	8 回以上/年 実施
保全活動に参加する人を 増やします※3	—	—	増加

※3 自然環境保全活動団体の会員数

(3) 個別目標個票 B2

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組みます
取り組み	保全・再生などについての取り組み
重点目標 B	生物多様性を保全するネットワークの拡大と担い手づくり
個別目標 B2	行政、有識者等との連携
取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物多様性保全に関する会議や協議への参加、有識者との連携 ・ 国や県の実施する調査事業等への参加・支援 ・ 各種団体等が行うイベントへの参加・支援

取り組み内容（市が行うべきもの）

<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物多様性保全に係る会議、協議、情報提供、協力関係の構築 ・ 条例指定種のモニタリング調査の実施 ・ 伊自良川や石田川等、国や県の実施する調査事業等への参加・協力 ・ 金華山保存活用推進会議等、各種協議会、シンポジウム等への参加 など
--

ロードマップ

指標	2023 年度	2024 年度	2025 年度
行政、有識者との連携の機会を 60 回以上/年実施します	60 回以上/年 実施	60 回以上/年 実施	60 回以上/年 実施

(4) 個別目標個票 C1

基本方針	生物多様性の保全と再生に取り組みます
取り組み	保全・再生などについての取り組み
重点目標 C	レッドリスト等の活用と生物多様性の現状把握
個別目標 C1	レッドデータブック等の活用と自然環境に関する調査の実施
取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・レッドデータブック等の周知 ・レッドデータブック等の活用方法の検討 ・生物多様性の現状把握をするための調査の実施 	

取り組み内容（市が行うべきもの）

<ul style="list-style-type: none"> ・レッドデータブック等を活用した環境教育の実施 ・レッドデータブック等の庁内周知 ・自然環境に関する継続調査を実施 ・条例指定種の保全 ・外来生物対応（セアカゴケグモ、アリ類、オオキンケイギク等） など

ロードマップ

指標	2023 年度	2024 年度	2025 年度
レッドデータブック等を活用した環境教育を実施します	レッドデータブック等を活用した環境教育を検討	レッドデータブック等を活用した環境教育を実施	レッドデータブック等を活用した環境教育を実施
自然環境に関する調査を実施します	実施	実施	実施

(5) 個別目標個票 D1

基本方針	生物多様性の恵みを活用します
取り組み	活用などについての取り組み
重点目標 D	産業と生物多様性の関連についての周知・啓発
個別目標 D1	理解・促進方法の検討
取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性関連産業についての協議 ・市民への周知・啓発及び機会の提供 	

取り組み内容（市が行うべきもの）

<ul style="list-style-type: none"> ・普及・活用部会での協議、ワークショップ等の開催 ・アースレンジャー自然体験塾内での産業と生物多様性に関する講座の実施 ・アンケート等による効果の把握

ロードマップ

指標	2023 年度	2024 年度	2025 年度
産業と生物多様性の関連についての周知・啓発の機会を 5 回以上/年実施します	5 回以上/年 実施	5 回以上/年 実施	5 回以上/年 実施